

## 2019年度 シラバス

教科	地歴公民	科目	日本史		学年	3
				コース	AB選抜文系	
	使用教科書		『詳説日本史B』 山川出版社		履修単位数	5
学習目標	グローバル化が進んでいく中で、我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				評価の観点	定期試験の結果、出席状況・提出物・小テストを中心に、授業態度や発問に対する解答などを踏まえて総合的に判断する。
<b>授 業 計 画</b>						
月	単元・教材	学 習 内 容				
4	幕藩体制の動揺 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	・寛政の改革・天保の改革の内容を学習する。国内でも動揺が起こり、またこの頃から海外の国も接近をしてきており、まさに内憂外患の時代であったことを理解する。 ・鎖国を止め、開国に至った経緯や開国後の日本の変化や、国内での動乱を学習する。また、不平等な条約を結んでいることも理解する。 ・開国したことで、海外との国交を持ったこと、それに伴う海外文化の流入によって文明開化が起こり、日本国内が近代国家への歩みを進めたことを学習する。 ・大日本帝国憲法が公布に渡るまでに至る不平等条約の改正などの歴史的流れを学習する。				
5	近代国家の成立 ・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立					
《第1回定期試験》						
6	近代国家の成立 ・日清戦争 ・日露戦争 ・近代産業・文化	・日清戦争や日露戦争の歴史的影響や、結果がもたらした効果を学習する。不平等条約の改正や、戦争での勝利が欧米列強への仲間意識をもたらしたことを理解する。 ・企業勃興が起こったことによって、日本における資本主義が本格的に成立したことや、財閥がコンツェルン形態を形成したことなど経済的な影響を学習する。その一方で、官有事業払い下げなどの事件が起こっていることも学習する。 ・ヨーロッパを主戦場とする第一次世界大戦になぜ日本は参戦することになったのかを理解する。 ・ワシントン体制で軍縮の動きがあったこと、日本の外交も協調外交を取っていたことを学習する。				
7						
9	二つの世界大戦とアジア ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制					
《第2回定期試験》						
9	二つの世界大戦とアジア ・第二次世界大戦 占領下の日本	・第二次世界大戦の開戦の前に、日本国内では軍部の台頭が行われていたことを理解した上で、第二次世界大戦の流れを学習する。戦争での、日本軍の動きや終戦までを学習する。 ・敗戦後の日本の社会の変遷を理解し、日本国憲法の公布や経済復興までをしっかりと理解する。 ・国際社会が組織化されていることなどに留意しながら、グローバルな社会になっている事を学習する。 ・センター試験に向けて、問題演習を行う。				
10	高度成長の時代 激動する世界と日本 センター試験問題集					
11						
《第3回定期試験》						
12	センター試験問題集	・センター試験に向けて問題演習を行う。 ・私立大学は、各個人個人で問題演習を行う。				
1	※私立大学は各自での学習					
2						
《第4回定期試験》						
3						
副教材	『最新日本史図表・重要史料185』 第一学習社 『10分間テスト』 山川出版社					

## 2019年度 シラバス

教科	地歴・公民	科目	世界史B	学年	3
				コース等	AB選抜文系
	使用教科書		『世界史B』 東京書籍	履修単位数	5
学習目標	<p>現在、世界各地で発生する様々な戦争や紛争、環境といった諸問題に関心を持ち、その原因を考察する力を身につけることを目標とする。そのための知識を身につけ、歴史的関心を高め、客観的なものの見方を身につける。記録や事実の積み重ねを通じて、考えるとは何かを考えるきっかけをつくる。</p>			評価の観点	<p>定期テスト 小テスト 授業態度・発言 等</p>
<b>授 業 計 画</b>					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	第12章 大交易時代	<p>17世紀の危機から、新しい世界観や近代科学が形成されたことを学び、その後の18世紀からはじまる経済成長や現代まで続く国際政治の潮流が始まることを理解する。</p> <p>主権国家体制の成立、宗教改革と対抗宗教改革の動きを、当時の国際関係の視点にたって考察する。</p> <p>三十年戦争とその影響について理解し、ウェストファリア条約の意義について考える</p> <p>フランス革命の展開の中で、革命の性質がどのように変わったかを考える。</p>			
5	第13章 ユーラシアの諸帝国 第14章 近世のヨーロッパ				
《第1回定期試験》					
6	第15章 欧米の工業化と国民国家	<p>19世紀後半から、科学技術の発達が本格化し、発展した産業資本主義諸国の経済が膨張していくことを学ぶ。</p> <p>産業革命の背景や展開、産業革命によって新たに発生した諸問題について理解を深める。</p> <p>アジアにおける改革運動について、ヨーロッパの影響を念頭に置きながら理解を深める</p>			
7	第16章 産業資本主義と帝国主義 ・第2次産業革命 ・植民地獲得競争				
《第2回定期試験》					
9	第17章 アジアの变革 ・アジアの植民地化と民族運動	<p>資源・市場・投資先を求めて、世界各地を支配下に置こうと競合し、2度にわたる未曾有の大戦争を引き起こしたことを把握する。</p>			
《第2回定期試験》					
9	第18章 世界戦争の時代 ・第一次世界大戦	<p>世界恐慌の背景と、ニューディール政策やブロック経済政策など各地の対応について理解する。</p> <p>第二次世界大戦の性格について、第一次世界大戦とも比較しながら考える。</p> <p>世界戦争の後、米ソを中心とした東西両陣営による「冷戦」とともに、先進国と発展途上国との間に南北問題が生まれたことを理解する。</p> <p>現代社会は、環境・食料・難民などの問題に直面し解決を迫られていることを学ぶ。</p>			
10	・世界恐慌 ・第二次世界大戦				
11	第19章 世界秩序の形成 ・冷戦 第20章 情報革命とグローバル	<p>世界戦争の後、米ソを中心とした東西両陣営による「冷戦」とともに、先進国と発展途上国との間に南北問題が生まれたことを理解する。</p> <p>現代社会は、環境・食料・難民などの問題に直面し解決を迫られていることを学ぶ。</p>			
《第4回定期試験》					
12	センター試験対策 2次試験対策	<p>個別入試問題の演習を行い、受験に備える。</p>			
1					
2					
3					
副教材	<p>『グローバルワイド最新世界史図表初訂版』 第一学習社 『要点マスター 世界史B整理ノート』 東京書籍</p>				

## 2019年度 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	学年	3
					コース等
	使用教科書		『高等学校 改訂版 政治・経済』 第一学習社	履修単位数	4
学習目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代の政治、経済、国際関係等を客観的に理解する。 現代の政治・経済・国際関係に関する諸問題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。			評価の観点	普段の授業態度、発問に対する解答、出席率、ノート提出、定期考査を総合して判断する。
<b>授業計画</b>					
月	単元・教材	学習内容			
4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 ① 政治と法の機能 ② 人民保障と法の支配	・民主主義を実現するための民主政治の歴史と現在の特色について学ぶ。 ・世界各国の議会政治の特色について学ぶ。 ・日本国憲法によって保障される国民の権利にはどのようなものがあるのか、また新しく必要とされている権利とはどのようなものなのかを学ぶ。 ・日本国憲法の特色と、憲法に基づきどのような政治が行われているのかを学ぶ。 ・憲法第9条の内容と、国際社会上の特異性について理解する。 ・日本国憲法で保障される自由権、社会権といった権利から、憲法に記載されていない新しい人権までの内容を学び、現代の日本社会について考察する。			
5	③ 議会制民主主義と世界の政治体制 ④ 日本国憲法の基本原則 ⑤ 平和主義と自衛隊 ⑥ 基本的人権の保障と新しい人権 《第1回定期試験》				
6	⑦ 国会の組織と立法 ⑧ 内閣の機構と行政 ⑨ 裁判所の機能と司法制度 ⑩ 地方自治制度と住民の権利	・日本国憲法下における議会制民主主義の特色や細則を理解する。 ・日本の議院内閣制を理解し、他国と比較してその長所と短所をそれぞれ考察する。 ・日本の司法制度を学び、近年の司法制度改革についても理解する。 ・地方制度を学び、自分たちの地方の特色なども考察する。 ・選挙制度への理解を通して、有権者としての自覚を育み、民主政治における自分たちの役割について考察する。			
7	⑪ 政党政治と選挙制度 ⑫ 民主政治における世論の役割 《第2回定期試験》				
9	第2章 現代の国際政治と日本 ① 国際社会と国際法 ② 国際連合の組織と役割 ③ 国際政治の動向 ④ 国際紛争と難民問題 ⑤ 軍備管理と軍縮 ⑥ 日本の外交と国際平和への役割	・国際社会の基本的な枠組みと、その成り立ちを学ぶ。 ・国際連合の役割と、国際連合を中心とする国際社会についてを学ぶ。 ・第二次世界大戦から現代までの、国際社会の変動と冷戦について学ぶ。 ・現代の国際社会が抱え続ける、難民などの諸問題を理解する。 ・国際社会における日本の役割について考察する。			
10	⑦ 現代の国際政治と日本 ⑧ 国際社会と国際法 ⑨ 国際連合の組織と役割 ⑩ 国際政治の動向 ⑪ 国際紛争と難民問題 ⑫ 軍備管理と軍縮 ⑬ 日本の外交と国際平和への役割				
11	第2編 現代の経済 第1章 現代経済の仕組みと特質 ① 経済社会の発展 ② 経済主体と経済活動 ③ 市場経済の機能と限界 ④ 経済成長と景気変動 ⑤ 物価の動き ⑥ 金融のしくみとはたらき ⑦ 財政のしくみとはたらき ⑧ 日本経済の歩み	・現代の国際社会で中心となっている経済システムである資本主義の特色と、一時期世界で広がっていた社会主義という経済システムの特色を比較し、考察する。 ・資本主義の特色とその課題について理解を深める。 ・政府が行う財政政策、日本銀行が行う金融政策を学ぶことを通し、政府や日本銀行が何を目的としてそのような政策を行うのか、その成果と課題を理解する。 ・戦後の日本経済を学び、その栄華と衰退、そして現状を理解させた上で、自分たち若い世代がすべきことを考察する。			
12	⑨ 現代の国際政治と日本 ⑩ 国際社会と国際法 ⑪ 国際連合の組織と役割 ⑫ 国際政治の動向 ⑬ 国際紛争と難民問題 ⑭ 軍備管理と軍縮 ⑮ 日本の外交と国際平和への役割				
1	⑯ 現代の国際政治と日本 ⑰ 国際社会と国際法 ⑱ 国際連合の組織と役割 ⑲ 国際政治の動向 ⑳ 国際紛争と難民問題 ㉑ 軍備管理と軍縮 ㉒ 日本の外交と国際平和への役割				
副教材	・『最新政治・経済資料集 新版』 第一学習社 ・『私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために』 総務省・文部科学省				

## 2019年度 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	3
				コース	AB選抜理系
	使用教科書		『現代社会』 東京書籍	履修単位数	3
学習目標	<p>・人間の尊厳と科学的な探求の精神に基づき、広い視野に立って、現代社会と人間についての理解を深める。</p> <p>・現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。</p>			評価の観点	<p>定期試験を軸に、授業への意欲的な参加や、関心の高さ、授業態度、社会に対する関心度などを、総合的に評価する。</p>
<b>授業計画</b>					
月	単元・教材	学習内容			
4	第2章 日本国憲法と民主政治 1. 民主政治とは ①民主政治の成立②基本的人権の確立③世界の政治体制 2. 日本国憲法の基本原理	<p>第2章では、なぜ議会を通して意思決定を行う必要があったのか、なぜ、政治に参加するのかを学ぶ。</p> <p>・民主主義を実現するための民主政治の歴史と現在の特色について学ぶ。また、基本的人権がいかにして確立していったのか、現在はどうに保証されているのかを学ぶ。</p> <p>・現在の日本国憲法がどのように成立したのか、その歴史的背景を学ぶ。また、明治憲法と比較しながら現在の日本国憲法の特色を学ぶ。</p> <p>・国民の権利とは日本国憲法や法律でどのように保証されているのか、また新しく必要とされている権利とはどのようなものかを学ぶ。</p>			
5	①日本国憲法と三つの原理②基本的人権(1)(2)				
第1回定期試験					
5	③新しい人権と人権保障の広がり	<p>・日本国憲法の柱の一つある平和主義の歴史的背景と意義を理解するとともに、自衛隊との関係について学ぶ。</p>			
6	③新しい人権と人権保障の広がり	<p>・冷戦終結によって安全保障の状況はいかに変化したか、それに日本はどのように対応してきたかを学ぶ。</p> <p>・国会が「国権の最高機関」と位置づけられているのかをその仕組みなどを踏まえ学ぶ。</p> <p>・日本の議院内閣制の特徴は何かを学んでいきます。また、行政を民主的に統制するためにどのような制度が必要かを考察する。</p> <p>・公正な裁判を保障するために日本国憲法はどのような規定をおいているのかを学ぶ。</p> <p>・裁判員制度導入の狙い、導入後の問題点などを考察していく。</p> <p>・民主主義において地方自治はどのような意義を持っているのかを学ぶ。地方公共団体の首長と議会のあり方に学ぶ。</p> <p>・日本の選挙制度の問題点や制度がどのように政治に影響しているのかを学ぶ。</p> <p>・有権者にとって政党の意義とは何かを考察する。</p> <p>・メディア特徴を踏まえ、それぞれの情報にどのように接すべきかを考察する。</p> <p>・なぜ、基本的人権の保障や法の支配の実現が大切なのかを学ぶ。また、家庭生活の中で法はどのように関わっているのか、具体例を挙げながら考える。</p> <p>・国家が刑罰を行う理由を考察する。</p>			
7	④平和主義と安全保障(1)(2)				
第2回定期試験					
7	3. 日本の政治機構 ①国会と立法②内閣と行政③裁判所と司法④地方自治	<p>・個人や企業がどのような目的で経済活動を行っているのか、また、経済活動に対してどのような責任があるのかを学ぶ。</p> <p>・企業が利潤を増やすために、どのような活動をしているのかを考察する。</p> <p>中央銀行や金利などについて学ぶ。</p> <p>・高度経済成長から石油危機、バブル経済などをどのような条件のもとで起こったのか、歴史的背景を踏まえ考察する。</p>			
9	4. 現代政治の特質と課題 ①選挙の仕組みと課題 ②政党と利益集団 ③世論と政治参加 第3章現代社会と法 1. 現代社会と法①法の働き②社会生活と法				
10	第4章現代の経済と国民福祉	<p>・日本が国際社会において、果たすべき役割について学ぶ。</p> <p>・国際法と国内法の相違を考察する。</p> <p>・国際連合は平和のためにどのような活動をしているのか、また、どのような課題を抱えているのかを学ぶ。</p> <p>・冷戦終結によって安全保障の状況はいかに変化したか、それに日本はどのように対応してきたかを学ぶ。</p> <p>・第二次世界大戦後の軍備をなくす努力の経緯について学ぶ。</p> <p>・日本の貿易構造はどのように変化したのかを考察する。</p> <p>・近年のサミットでは、何が中心的な課題か、考察する。</p>			
11	1. 経済の仕組み				
第3回定期試験					
11	2. 変化する日本経済 3. 豊かな生活の実現 3. 豊かな生活の実現	<p>・日本が国際社会において、果たすべき役割について学ぶ。</p> <p>・国際法と国内法の相違を考察する。</p> <p>・国際連合は平和のためにどのような活動をしているのか、また、どのような課題を抱えているのかを学ぶ。</p> <p>・冷戦終結によって安全保障の状況はいかに変化したか、それに日本はどのように対応してきたかを学ぶ。</p> <p>・第二次世界大戦後の軍備をなくす努力の経緯について学ぶ。</p> <p>・日本の貿易構造はどのように変化したのかを考察する。</p> <p>・近年のサミットでは、何が中心的な課題か、考察する。</p>			
12	第5章国際社会と人類の課題 1. 国際政治の仕組みと動向 2. 国際経済の仕組みと動向 3. 国際社会の現状と課題				
1					
副教材	『新版 最新現代社会資料集2019』 第一学習社				